

関西福祉大学

校友会会報

Kansai University of Social Welfare

関西福祉大学校友会

平成14年3月25日



▲ 吉住康子さん



▲ 野内洋佑さん



◀ 宮地 勇さん

活躍する校友 introduction

紹介記事を2~3ページに掲載

校友紹介	2
活躍する校友3名のインタビュー	
【特集】校友会設立	4
13.10.27設立総会	
理事長祝辞 柳生裕成理事長「校友会の誕生を祝す」	
会長挨拶 船曳宏保会長「校友会の発足に寄せて」	
設立総会 総会次第	5
役員紹介 21名の役員	6
会則 会則全文	7
事業・予算 平成13年度事業計画・予算	8
第1回理事会・幹事会	9
14.2.2 平成14年度事業計画・予算	
先生方からのメッセージ	10
坂本教授・古川教授・岩間講師	
赤穂講座	11
前田ゼミ・今岡ゼミ、コミュニティアワー	
平成12年度卒業式・学長式辞	12
校友ネットワーク	13
校友7名の近況	
学園ニュース	14
事務局より	16

interview

校友インタビュー

表紙の「入学金」
「早く明生たちです、仕事の様子と福祉にかける情熱をそれぞれ語ってもらいました。後編です。トドパでもあります。」

職場にお邪魔してインタビューしました。
野内さん 平成十四年一月十八日オハラハウス鴨方訪問副施設長大室氏と面談
宮地さん 平成十四年一月十九日のオハラポール訪問岡山本社取締役後店長栗上氏と面談
吉住さん 平成十四年一月二十日「緑地公園訪問施設長丸山氏と面談」

野内洋佑さん

特養オハラハウス鴨方岡山県



お疲れのと
ころ、恐縮です。

夜勤明けの
朝十時に訪問
した。「特養は
年中無休です。
夜勤は前日の
四時半から。

記録を書き終えて退出するのはこの時間になりま
す。スケジュールはびっしり。特に昨晩は大変でし
たと、前置きなしに仕事の話しに入った。

何が大変なのですか？

「昨日まで元気に歩いていた方が、状態が急変し
も終つとその方のことを忘れることがあり、つらい
思いを味わいます。今の入所者の状態把握が最も大
切であり、そのことに集中しなくてはならないから

です」

お年寄りにやすらぎを得てもらうためには、刻々
変わる状態に適切に対応すること、トイレ、入浴
食事、レクリエーションなどの介助場面にあつて的確
な介助技術を駆使することが求められる。

「まだゆとりはありません。慣れることに精一杯で
す」と、謙虚に語る野内さんだが、「あと二ヶ月で新
入職員を指導する立場になります」と、口元を引き
締めた。

希望どおり、故郷に就職しましたね。

野内さんは故郷の金光町を都会でなくて町でな
い」と表現する。通勤は車で十分。親と緒の生活な
ので必要経費が節約できることもあるが、それ以上
に、車で移動すればスパーはもちろん文化施設も
海も山もすぐそこにある。好きな釣りもできる。子
どもの頃から大学まで一緒だった幼なじみが近隣で
働いている。

「ここが好きなのです」と野内さんは言う。

後輩にアドバイスをお願いします。

「特養を希望される方は、必ずボランティアをして
ください。ポツと立っているのではなく、トイレ誘導、
おしめ交換など積極的にさせてもらってください」
施設では、即戦力を求めている。自分の体験に重
ねあわせて、ボランティア経験が売りになると力説
する。

大室副施設長から
ひとこと

「野内さんは介護
の技法や理屈の底
に必要なやさしい心
かよつ心を備えた
職員の人だとして
います。その方向を
一層磨いてほしいと
思います」



宮地 勇さん

(株)いのうえ 岡山本社



就職して二年
ですわ。ご感想
をお願いします。

「ご感想は？
という問いに
瞬考える顔付
きをみせたが、
「お客さんから

『良くしてもらいました』とねぎらわれると疲れが
フツ飛びます。『いのうえ』さんと社名で呼ばれる
のでなく、『宮地さん』と自分の名前を呼んでもら
えると、しめた嬉しくなります」と、よどみのな
い答が返ってきた。

人生の締めくくりのお手伝いですねと水を向け
ると、最後でなくて最初です。今は悲嘆にくれてい
る人も、明日から新しい生活が始まります。生きる
パネになれることを願いながら仕事をしています」

と言っ。葬祭業は究極の福祉であるという哲学を持
つ。葬儀は単なる儀礼ではなく、生と死を受けとめ
る作業であり、グリーンフワークに役立つものでなく
てはならないと考えている。

最近うれしかったことは？

最近、上司から「あか抜けしたね」と声をかけら
れた。厳しい仕事が自分を育ててくれたのだと宮地
さんは思う。六時起床、七時出社、二十二時帰宅の
毎日。がむしゃらに過ごしている。何がほしかと
上司に聞かれて、あと二時間ほしいと答えた。本音
であり、切実な気持ちだった。

仕事はすべてチームワーク。マイペースは許され
ない。従業員は自分流ではため、お客さんの前に出
せる商品になれ、としつけられている。お客さんへの
対応はスピード、理解力、細かい気配りが求められる。
仕事の厳しさが次々と口をついて出てくるが、
愚痴ではない。そのなかで鍛えられている自信と自
負が語らせている。

後輩にひとことお願いします。

「好きなことをすべきたと思えます。好きなことを
思っ存分にさせてくれた親に感謝しています。悔い
はありません」と言い切る。宮地さんの新しいチャ
レンジが今始まっている。



葉上支店長からひ
とこと

「昔のやり方は通
用しない時代です。
若い人に新しい形
をつくってほしいで
すね。」

宮地さんのリーダ
性に期待しています。」

吉住康子さん

(福)緑地福祉会ブレイク緑地公園(大阪府)



(施設長の
丸山氏と面談)

ケアハウス
は三十室がす
べて満室。面会
が多い。第二の
青春を楽しん
でもらうこと

を目標にしている。折り紙、アートフラワー、詩吟、
ピリヤードなど、クラブ活動が盛んである。吉住さ
んが働いているデイは、一階事務所の奥である。階上
のケアハウスからの参加もある。

何故デイを希望したのですか。

吉住さんは、体操、卓球、サッカー、水泳、レクなど
スポーツ好きで、障害者スポーツ指導員の資格(中
級)を持っている。就職はデイと決めていた。だから
今の仕事が好き。

「職員と利用者に恵まれています。ここでよかつ
た」と言っ。そして、「校友会名簿を繰ってみると
この近くで働いている二期生が多いですね」と目を
輝かす。

苦労は？

辛いこともあるでしょうね、と聞いてみた。

「送って行って、戸締まりや食事が気になることが
あって…。でも、そのまま帰らなくてはならない。」

「痴呆の方にたたかれて痣ができたことがあります。
デイに行きたくないと行って家族をたたくの。
気がついたら私が間に割って入ってたたかれていた。
怪我をさせてはいけません。だって家族が介護
の第線ですから」

リハビリにも対話にも、もっと深くかかわりたい。
状態が悪くなった方をもっとよくみてあげたいと
吉住さんは思っ。だから、楽しかったよ」と感謝さ
れると嬉しさが倍になる。毎日、人との新たな交わ
りがあり、福祉の仕事に集中できる。それが苦労で
あり、喜びでもある。

後輩に助言を。

「自分が行きたいところを選ぶこと。職員と入所
者に来て、雰囲気と体制を見て私はここを選びま
した。逆に、ここでは働きたくない」ということもあ
るはず。ボランティアを勧めます」

丸山施設長からひ
とこと

「彼女は周囲を明る
くする天性の力をも
っています。勤務は体
力が必要なことも多
いので、スタミナに
気をつけて元気を
与えつけてくだ
さい。」



「校友会」の 誕生を祝す

関西金光学園理事長 柳生裕成



平成九年四月に大学を開設して以来五年の歳月が経過しました。本年度（平成十三年度）は二期生が社会人となり、大学が独り立ちした記念すべき年度です。大学運営の中にも、この区切りに鋭く感心したいくつかの新しい動きが見られました。

校友会の発足もその一つであり、第二回卒業生と大学教職員の役員の方々の並々ならぬご努力により、このたび力強く呱呱の声を上げることができたことは誠に喜ばしいことでもあります。

長い伝統を有する大学においては、そのなかで培われてきたそれぞれに相応しい校友会があり、会員のため、大学のため、また社会のため活発な活動をしております。本学の校友会も、これから組織の充実、財政基盤の確立、実のある事業の展開など各般の課題が控えていますが、反面、育てる楽しみというものがありません。

大学にとりましては、卒業生の皆さんの連帯感と母校への誇りとをバックボーンにした実社会での奮闘が、なにもにも代えがたい贈り物であります。校友会総会や各種の集いが盛会となり、懐旧と親睦のみに止まらず、お互いのビジネス交流や研鑽の場にもなるよう、今後関係の皆様のご努力をお願いしたいと思います。

卒業して歳月を経ても、旧きよき友が懐かしく、母校を思う心は変わりません。私の経験でも、校友会というものは卒業して年月が経つほど、その良さがわかってくるものだと思います。皆さんが校友会を通じての交わりを大切に、更なる成長を遂げ、大学の顔として各界で活躍されることを強く願う次第であります。

校友会に大きな期待をこめて、発足に当たつてのご挨拶といたします。

校友会の発足 に寄せて

関西福祉大学校友会 会長 船曳宏保



第二期生が卒業し、新しい世紀が幕開けた二〇〇二年（平成十三年）十月二十七日、関西福祉大学校友会が誕生し、その初代会長を引き受けることとなりました。大学をとりまく環境が厳しいなかで新しい校友会像を模索していくことになり、役員、会員の皆様のご協力を得ながら着実に歩まなくてはならないと決意を新たにしているところです。

一月二日に第二回幹事会、理事会が開催され、初めての事業として卒業・入学記念品（学章、校友会会員章）を作成することとなりました。時宜を得たことであり喜んでおります。今後とも、大学と父母との密接な連携のもとで、学生が充実した大学生活を送ることができるよう、支援事業を強めてまいりたいと考えています。

さて、本学校校友会の正会員は卒業した若くは新社会人です。当分の間、この状態が続きます。反面、大学の教

職員サイドから参加している私たちは相当の年配者であります。この両者のバランスには難しい面もあります。しかし、昨年一年間の汗と苦勞の準備活動をふり返りますと、何としても校友会をスタートさせるという点では一致してあります。これからは、すべての卒業生が参加できる校友会活動を工夫し、校友会を大きく育ててはならないと考えております。皆様のご参加が期待されるところです。

校友会の「会報」と「名簿」は、校友会の唯一の情報源、活動のツールであり、今回の会報第一号の発行は、正規の活動のスタートを象徴するものであります。卒業生諸君の若いパワーと、大学教職員の豊かな経験、知識とが相まって、本会が大きく進展することを信じ、皆様方の温かいご理解、御支援をお願いいたします。ご挨拶といたします。

設立総会



会則、事業、予算承認
船曳学長を初代会長に選出
学祭の円形広場で交流

- 関西福祉大学「校友会」設立総会
- 日時／平成十三年十月二十七日(土)
十三時～十四時
- 場所／本学 コミュニティホール
- 次第
- 一、学長あいさつ
- 二、校友会設立準備委員紹介
- 三、経過報告
- 四、議事
 - (一)議長選出
 - (二)会則
 - (三)役員
 - (四)事業計画、予算
 - (五)その他
- 五、役員紹介
- 六、諸連絡



役員あいさつ(藤田副会長)



事業計画・予算提案(上野山理事)



学長あいさつ(船曳学長)



諸連絡(日和幹事)



議長(徳田幹事)



会則提案(宮地理事)

特 集
Special
校友会設立
役員紹介



理事(教授)
今岡 典和



副会長(副学長)
水野 洋



副会長(一期生)
藤田 正樹



会長(学長)
船曳 宏保



幹事(一期生)
木部 政治



幹事(一期生)
河村 梢



幹事(一期生)
加藤 大和



理事(一期生)
宮地 勇



理事(教授)
坂本 忠次



理事(一期生)
上野山 加壽美



幹事(主任)
星野 光也



幹事(一期生)
福井 弥生



幹事(一期生)
日和 理奈



幹事(一期生)
徳田 篤



幹事(事務局長)
酒井 敏男



幹事(参事)
小坂 晋一

※アイウエオ順



会計監事(一期生)
水谷 琴江



会計監事(助教授)
大山 摩希子



幹事(助教授)
吉原 恵子



幹事(助教授)
溝端 剛



幹事(学部長)
前田 繁一

関西福祉大学 校友会会則

第一章 総則

(名称) 校友会

第一条 本会は、関西福祉大学校友会と称する。

第二条 本会の事務所を、赤穂市新田三八〇三関西福祉大学内におく。

(目的)

第三条 本会は会員相互の親睦・扶助を図り、教養の向上に努めるとともに、母校の発展を援助し、社会に寄与することを目的とする。

(事業)

第四条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (一) 会報及び会員会簿の発行
- (二) 会員の懇親及び交流
- (三) 講演会、研究会等の開催
- (四) 母校の発展に寄与する事業
- (五) 種々の社会奉仕の事業
- (六) その他の必要な事業

第二章 会員

(会員)

第五条 本会の会員の種類及び資格は次のとおりとする。

- (一) 正会員 本学を卒業した者
 - (二) 準会員 本学の在学生
 - (三) 特別会員 本学の現任専任教職員
 - (四) 賛助会員 本会の目的に賛同する者で、理事会が承認した者
 - (五) 研究生、科目等履修生などが希望するときは、理事会の承認を得て正会員または賛助会員になることができる。(資格喪失)
- 第六条 本会の名籍をけがした者または本会の目的に反する行為を行なった者は、理事会の決定により除名されることとなる。

第三章 役員

(役員)

第七条 本会に次の役員を置く。

- 一 本部役員
 - (一) 会長 一名
 - (二) 副会長 二名
 - (三) 幹事 十五名以内
 - (四) 幹事 各卒業年次毎に六名以内及び会長の指名したものと六名
 - (五) 顧問 若干名
- 二 支部役員
 - (一) 支部長 各支部一名

(役員)の選出

- 第八条 役員は次のとおりとする。
- (一) 会長は理事の互選とする。
 - (二) 副会長は、理事の中から会長が委嘱する。
 - (三) 理事は幹事の中から選出された者とする。
 - (四) 幹事は各卒業年次毎に会員中より互選された者及び会長の指名した者とする。
 - (五) 顧問は、理事会の承認を得て会長が委嘱する。
 - (六) 会計監事は理事会において理事、幹事及び支部長以外の者から選出する。
 - (七) 支部長は、各支部会員の中から互選する。(役員)の任務

第九条 役員は次のとおりとする。

- (一) 会長 会長はこの会を代表して会務を統括し、理事会、幹事会及び支部長会議を召集する。
- (二) 副会長 副会長は会長を補佐し、会長が不在のときは、その職務を代行する。
- (三) 理事 理事は理事会を組織し、第十二条第六項に定める事項を行う。
- (四) 幹事 幹事は幹事会を組織し、第十三条第四項に定める事項を行う。
- (五) 顧問 顧問は会長の諮問に応じ、助言を行うことができる。
- (六) 会計監事 会計監事は本会の会計及び収支決算を監査する。

(役員)の任期

第十条 役員は任期は三年とし、再任を妨げない。

第十一条 役員は次の事由が生じたときは、その職務を停止することができる。

一 前項の役員は、前任者の残任期間とする。

二 役員は、退任しても後任者が就任するまでは、その責任を免れるものではない。

第四章 会議

(会議)

第十二条 本会に次の会議を置く。

(一) 総会

(二) 理事会

(三) 幹事会

第十三条 総会は毎年一回年度初めにこれを開く。ただし、会長が必要と認めるとき、幹事会の議決があったとき及び会員総数の五分の一以上から会議の目的事項を示して請求があったときは、臨時総会を開く。

第十四条 総会には、議案、期日、場所等について会員に通知を要することとする。

第十五条 総会の議長は当日出席の会員中からこれを選び、総会は次の事項について審議し、議決は出席会員の過半数による。可否同数のときは議長がこれを決す。

(一) 会務報告及び事業計画の承認

(二) 決算報告の承認

(三) 決算及び予算の承認

(四) 会則改廃の議決

(五) その他理事会において必要と認められた事項

第十六条 原則として理事会及び幹事会において審議した事項を議題とする。ただし、緊急動議については、出席会員の過半数が承認した場合はその限りではない。

第十七条 理事会は会長が必要と認めるとき及び理事五名以上から会議の目的事項を示して請求のあったときを開く。

第十八条 理事会は理事が半数以上出席しなければ開くことができない。

第十九条 理事会の議長は会長が務める。

第二十条 理事会は、出席理事の過半数による。

第二十一条 理事会は、出席理事に対して責任を負う。

第二十二条 理事会においては次の事項について審議、議決し、これを実行する。

(一) 庶務、会計及び事業に関すること

(二) 総会及び幹事会の議案の審議

(三) 総会及び幹事会の議決事項の実行

(四) 予算案及び決算書の調整

(五) 職員の任免及び処遇

(六) 会則及び会員に関すること

(七) その他会長の附随した事項

第二十三条 幹事会は理事会の必要と認めるとき及び幹事総数の三分の一以上から会議の目的事項を示して請求のあったときを開く。

第二十四条 幹事会は幹事総数の二分の一以上の出席者(委任状提出者を含む)をもつて成立し、議決は出席者の過半数による。可否同数のときは議長がこれを決す。

第二十五条 幹事会においては次の事項を行う。

(一) 決算の承認及び予算案の協議

- (一) 各種事業の検討及び意見具申
- (二) 会則及び細則改廃の承認
- (三) 総会の議案の審議
- (四) その他必要な事項

(記録)

第十五条 総会、理事会、幹事会の議事はこれを記録し、議長及び記録者が署名押印の上、事務所において保存する。

第五章 事務局

(事務局)

第十六条 校友会事務局は関西福祉大学内に置く。

第十七条 事務局に事務職員を置くことができる。

第十八条 事務局の細則は、会長が別に定める。

第六章 会計

(経費)

第十九条 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもつてこれに当てる。

(会費)

第二十条 正会員の会費は終身会費十二万円とし、在学中、毎年三万円を納入する。

第二十一条 特別会員の会費は年会費二万円とし、在職中、毎年度総会当日までこれを納入する。ただし、旧専任教職員は除く。

第二十二条 賛助会員の会費は年会費二万円とし、毎年度総会当日までこれを納入する。

第二十三条 その他、理事会及び幹事会において臨時に会費の徴収が必要と認められた場合は、その都度必要額を徴収する。

第二十四条 すでに納入した会費は、還付しない。

第二十五条 (会計監査)

第二十六条 本会の会計年度は、毎年四月一日始まり、翌年三月三十一日に終わる。

第二十七条 本会の収支決算及び財産は、会計監査を経て総会に報告し、承認を得なければならない。

第七章 支部

(支部)の設置(支部長)

第二十八条 理事会の議決を経て都道府県単位の支部をおくことができる。ただし、会員数の多い都道府県は若干の支部に分けることができる。

第二十九条 支部は、原則として当該都道府県に居住する会員をもつて構成員とする。

第三十条 支部には支部長一名をおく。支部長は、支部会員の互選等により本部役員以外から選出する。任期は二年とする。

第三十一条 支部長は支部を班に細分し、班長をおくことができる。

(本部との連携)

第三十二条 支部長は支部長名、支部役員名、事務所の所在等を本部に報告しなければならない。

第三十三条 支部長は本部の方針に協力し、支部会員の親睦をはかり、その活動状況を本部に報告しなければならない。

第三十四条 支部長は幹事会に出席し、求めに応じて意見をのべるることができる。

(支部長会議)

第三十五条 支部長会議は一年に一回以上開くこととする。

第三十六条 (経費)

第三十七条 支部長は各支部においてまかなう。本部は支部活動費の補助を行うことができる。

第三十八条 附則

一 この会則は、総会の議決を経なければ改廃することのできない。

二 この会則は平成十三年四月一日より施行する。

三 本会設立時から当分の間の会長は、第八条の規定にかかわらず、関西福祉大学の学長とする。

四 本会設立時から当分の間の幹事及び理事は、第八条の規定にかかわらず、関西福祉大学校友会の会長が指名した者とする。

平成13年度事業・予算

設立準備の期間(13.1~13.10)は学長の決裁により、準備活動のために最少限必要な経費に限り執行してきました。10月27日の総会において、13.10.27~14.3.31の「平成13年度事業計画及び予算」が承認されました。

平成13年度事業計画

1・会務

- (1)幹事会
- (2)理事会
- (3)総会

2・企画事業

- (1)会報・名簿発行
- (2)調査・広報
- (3)卒業式及び入学式への参画
- (4)在学生諸活動援助
- (5)支部の設立等

3・事務局事業

- (1)専任事務局体制の確立
- (2)会員との連絡調整
- (3)校友会会費の徴収及び経理事務

4・その他

□学園ニュース 中庭(図書館横)を造園整備

図書館横の中庭が整備され、アメニティ環境の向上が図られました。学生が休憩場所として利用でき、キャンパスの風景が楽しめます。バリアー体験コースも設置されています。

設計は三村教授。昨秋着工し、このたび竣工しました。植栽などは来年度も継続されます。



■平成13年度 校友会収支予算書(案)(平成13年10月27日~平成14年3月31日)

1/収入の部

科 目	金額(単位/円)	備 考
1.会費収入	99,593,000	会員(平成13年10月27日現在 1,328名) ・正会員 285名 ・準会員 989名 ・特別会員 54名 各年度収入額(平成13年度は予定額) ・平成9年度 2,190,000円 292名 ・平成10年度 4,065,000円 542名 ・平成11年度 5,970,000円 796名 ・平成12年度 47,328,000円 1,033名 / 延1,722名 ・平成13年度 40,040,000円 1,018名 / 延1,639名
2.寄付金収入	10,000	
3.雑収入	70,000	中国銀行 赤穂支店 普通・定期預金
(1)受取利息	(70,000)	
(2)雑入	(0)	
合 計	99,673,000	

2/支出の部

科 目	金額(単位/円)	備 考
1.事務費	3,000,000	
(1)消耗品費	(150,000)	校友会資料送付用封筒・宛名ラベル等
(2)旅費交通費	(800,000)	理事会等役員出張費他
(3)印刷製本費	(50,000)	校友会資料印刷等
(4)報酬手数料	(200,000)	会議等開催準備アルバイト代等
(5)通信費	(300,000)	校友会資料・名簿等送付料
(6)会議費	(300,000)	理事会・幹事会等会議
(7)渉外費	(100,000)	他大学等訪問手土産
(8)備品費	(1,000,000)	パソコン等・データベース構築
(9)雑費	(100,000)	
2.事業費	5,000,000	会報・名簿発行、調査、広報、卒業・入学記念品、 在学生諸活動援助(汐風祭等)、支部設立
3.予備費	6,000,000	
4.校友会館建設積立金	70,000,000	
5.次年度繰越金	15,673,000	
合 計	99,673,000	

第1回幹事会、理事会の開催

平成14年2月22日(土)午後13時～17時、関西福祉大学第1会議室において、平成13年度関西福祉大学校友会第1回幹事会及び第1回理事会が開催され、平成14年度事業計画(案)及び平成14年度予算(案)について協議、決定しました。

■平成14年度事業計画

1・会務

- (1)総会 1回開催予定 10月、汐風祭時
- (2)理事会 2回開催予定 4月(事業計画、当初予算)
5月(事業報告、決算)
- (3)幹事会 4回開催予定 理事会開催直前、各事業実施前
- (4)その他 各種委員会等は必要に応じて設置、開催する。

2・組織の拡大と強化

- (1)名簿の発行 3～4年間は当該年卒業生の住所録の形で発行。
3～4年後に、正式な名簿を作成する。
- (2)会報の発行 当分の間、年2回発行。広報資料としても活用。
- (3)校友会の名称の設定(公募)
- (4)ホームページの開設(調査研究・開設・拡充)
- (5)支部の設置
- (6)各種校友会活動(期生会など)に対する助成等
- (7)旧教職員に対する加入の呼びかけ

3・母校、在学生に対する支援

- (1)卒業・入学祝賀 式典列席、学章贈呈及び歓迎セレモニー(校友会新会員及び新入学生の歓迎)/卒業式14.3.25(月)、入学式14.4.5(金)
- (2)各種助成(学祭、課外活動団体、海外研修等)
- (3)大学の行事・事業への協賛

4・事務局整備

備品、消耗品、データベース構築、事務職員雇用等

5・その他

- (1)会員の親睦・慶弔 役員懇親会、総会後の懇親会等
見舞い、弔電、供花等
- (2)広報活動 リーフレット作成、グリーティングカード作成、校友会グッズの検討
- (3)他大学校友会訪問 情報収集と交流
- (4)研究会の立ち上げ 校友、勤務先、福祉関係諸機関
- (5)中・長期的課題 校友会館、サテライトルーム、ゲストハウス等

■平成14年度 関西福祉大学校友会収支予算(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

1/収入の部

科目	金額(単位/円)	備考
1.会費収入	35 062 000	各年度収入額(平成14年度は予定額) ・平成14年度 / 34,522,000円 1,002名(在学生) ・平成14年度 / 540,000円 54名(現教職員) 校友会員構成(平成14年4月1日現在1,571名) ・正会員 / 515名(卒業生) ・準会員 / 1,002名(在学生) ・特別会員 / 54名(現教職員)
2.前年度繰越金	15 673 000	
3.寄付金収入	0	
4.雑収入	50 000	
(1)受取利息	(50,000)	中国銀行 赤穂支店 普通・定期預金
(2)雑入	(0)	
合計	50 785 000	

2/支出の部

科目	金額(単位/円)	備考
1.事務費	6 350 000	
(1)人件費	(3,000,000)	校友会専従職員費(@200,000×12+@200,000×3)
(2)消耗品費	(200,000)	校友会資料送付用封筒・宛名ラベル等
(3)旅費交通費	(800,000)	理事会等役員出張費他
(4)印刷製本費	(500,000)	校友会資料印刷等
(5)報酬手数料	(300,000)	会議等開催準備アルバイト代等
(6)通信費	(300,000)	校友会資料・名簿等送付料
(7)会議費	(500,000)	理事会・幹事会等会議
(8)渉外費	(100,000)	他大学等訪問土産
(9)備品費	(500,000)	校友会事務室机・書庫等
(10)慶弔費	(50,000)	校友会員見舞金
(11)雑費	(100,000)	
2.事業費	6 000 000	会報・名簿発行、調査、広報(ホームページ開設) 支部設立、在学生諸活動援助(海外研修・汐風祭等) 校友会グッズ作成、校友会名称設定
3.予備費	3 000,000	
4.校友会館建設積立金	30,000,000	
5.次年度繰越金	5,435,000	
合計	50 785 000	

3/校友会館建設積立金

前年度積立額	70,000,000円
14年度積立予定額	30,000,000円
年度末予定積立額	100,000,000円

先生方からのメッセージ

卒業生の皆さんと校友会 —支部設立や各種活動に期待します—

坂本 忠次

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。関西福祉大学校友会の会則も、昨年正式に校友会が発足しましたが、御卒業と同時に皆さんも校友会の一員となられます。第二回と第一回の卒業生を加えますと、本学校校友会の会員は特別会員を含めてすでに五百名以上に達します。

校友会は、大学の同窓会とほぼ同じ機能を持っていると思われませんが、会則の第二条「目的」には、「会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与する」とあります。母校の発展に寄与するというのはどんな活動があるのでしょうか、第三条の事業に掲げられたいくつかの項目の中には、「会員の親睦並びに交流」のほかに、「研究会、交流会などの開催」、「社会的貢献に寄与する事業」他が掲げられています。

私事にわたり恐縮ですが、私は、某国立大学と某私学の二つの大学（大学院を含む）に在籍しましたので、二つの大学の同窓会、校友会に入っています。国立大学では同窓会と言っている場合が多いのですが、東京、名古屋、関西、大阪、岡山、九州等いくつか支部があります。私は岡山と関西の会に所属していますが、岡山では年一回の総会や年二回程度の幹事会があります。総会では、地域で活躍している人のスピーチや音楽の演奏など聞いて、懇親と交流の会をしています。関西の会は、大変大きく、本部から来賓の学長などと呼び、音楽鑑賞の会、囲碁の会、ゴルフの会、家族旅行、観劇の会などいくつかのサークルに分かれ、それぞれ活動しています。

私学の場合は、校友会と呼ぶケースも多く、岡山でも母校の総長、学長又は校友会代表を呼んで会合し、二次会まであります。会費は卒業年次によつて分けられ、若い会員には安くなく、通常、父母も参加した会となっています。

関西福祉大学の校友会はまだ創立間もないこと、就職された会員、幹事の方など会社や福祉施設の仕事を大変かと思えます。皆さんが多数集まれる日時と場所を選んで幹事会や総会などを開くのがよいと思います。

赤穂の他に会員の多い大阪、神戸、岡山辺にまず支部が有志の懇親グループをつくって行くことが必要でしょう。校友会館



も二、三年以内には建て、卒業生、現役学生、教職員の交流と親睦を深めていくことが大切でしょう。在学生の学習やスポーツ活動も励ましてください。

そして、新しい卒業生の皆さんの参加を得て校友会活動も充実し、福祉大学にふさわしく何らかの社会貢献活動もできるようにしなければならぬと素晴らしいことでしょう。

(理事、本学教授)

校友会の発足に寄せて

古川 治

昨年十月、本学に同窓会、校友会が発足しましたが、本当におめでたいことです。本学で学んだ学友が実社会で活躍し、卒業後に再び同に会する日があることを夢に見るだけでも楽しいことです。

何年前かに母校の京都大学の同窓会に出席したところ、旧友から昭和三十六年の教育学部卒業生で同窓会をやるうという声が出ました。そこで何人かで世話役をきめて京都で集まることにしましたが、三十数年ぶりに会った学友もいてとてもなつかしく盛況で、久しぶりに旧交を暖めることができました。それ以来、嵐山の「花の家」で毎年九月に定期的な同窓会を開いてきました。たまたま、わたしが初代の同窓会会長に選出されて、今日に到つています。名づけて「三六浴友会」と言っています。

わたしたちの同窓会は目下、宿泊をかねて前日の夕方から翌日まで歓談し、酒を酌み交し、興に乗ると皆で肩を組んで「くれない燃ゆる丘の上や、琵琶湖周航歌」などを歌います。

わたしは本学に就任するまで兵庫教育大学の大学院生と学部生を教えていましたので、その当時は何度もゼミ生と懇談の会をもつことにしていました。また、ゼミ生を連れて中国の浙江省余姚市にある王陽明の生家の竣工式に参加したことがあります。また、学部生とは有志で温泉旅行に行くこともありました。大学院の学生のころ、わたしは京都の朱雀高校の二部で夜間に通っていました。

が、学年毎の同窓会に今でも招待されて出席しています。教師の生きがいの一つは、かつての教え子に招かれて、かれらの元気な姿に会えることではないか、と思います。

同窓会も生学規模で行



うと、集まる人数が多いのと、学年が異なること名前と顔が合わなくなったりして、どうしても親しみが湧かないことがあります。そこで、わたしは学年ごとのゼミ単位を併せた合同ゼミ会をもつことにしています。本学の特徴を生かしたゼミ単位の同窓会が生まれるのではないかと期待しています。

幸い、本学には、汐風通信があります。これを活用して卒業生の声を取り入れて、学年毎の壁をなくし、在学生と卒業生の情報交換によって相互の交流を活発にしていたければありがたいと思います。

(本学教授)

無垢なとむらい

岩間 文雄

何年前の九月、強い日差しが照り付ける午後のことです。ある仕事からの帰り道、ハンカチで顔をぬぐいながらうだるような神戸市街地の歩道を歩いていました。道の脇にはそれに沿って花壇が設けられ、人の腰の高さほどの低い木が植えられています。この植え込みの緑をぼんやりと目のすみに捉えながら歩いていくと、何か地面に違和感のあるものを見たような気がしました。通り過ぎてしまつてからなんとなく興味を覚え、踵を返して、「三歩戻り中腰になつてよくよく覗き込んで見ると、花壇のはしの木が植わつていない地面が何かあります。ちょうどお椀を伏せたくらいに土を盛り上げ、その上にテレホンカードくらいの平たい石が刺して立ててありました。明るい灰色をしたその石には、おそらくマジックペンでたとえ思つのですが、ことも書かれています。私はその時思わずに「こわさないで」と書かれています。私はその周囲の蒸し暑さを瞬忘れることができました。大人になるに従って見えなくなる景色や意識しなくなる存在がありますね。私もかつては「このかわいらしいお墓を作った子どものように、小さなツバメの死を心の奥底から悲しむ少年だった時代があったのですが、成長して背が伸びて、カブトムシや図鑑、死の不思議などに向けられていた目は、書類やコンピューターの画面、電車のダイヤばかり見るようになつたわけです。社会人として成長しつつある皆さん、自分の中に幼いころの自分はいまいますか？」

(本学講師)



赤穂講座

平成十四年八月十六日、市内の大教室で「年次」ミニティアワー報告会が開催されました。十四日ミニが「会場に分かれ、意欲的な取り組みを報告しました。今回は、「赤穂講座」と題してその内二つをご紹介します。

地方自治と社会福祉(赤穂市をめぐって)

前田繁(セミノミニティアワー発表)

大学の朝「時限目のチャイムがなると、発表会司会者の「ただ今から平成十三年度の第四回ミニティアワー報告会を行います」の声が一八番教室にひびいた。満席の教室には不意の学生が行きかい、平常よりは緊張した雰囲気があった。十四日の発表が始まった。ゼミそれぞれのユニークなテーマがめじろおしである。

ミニティアワーは本学の教学上の特徴であり、体験型教育のプログラムとして学生がキャンパスから地域社会に入り体験し勉強する。それがゼミ、講義と連動したものである。

前田ゼミのテーマ「地方自治と社会福祉」は、赤穂市を中心におきながら、二十世紀への移行とともに地方自治制度と福祉制度に画期的変化が起ったことを視点にしている。介護保険法と地方分権一括法の施行であり、地域の福祉の主体が厚生行政からはなれて地方自治体に移った

ことである。

発表内容は第三章で戦前戦後の厚生行政の変遷を検討し、一九四五年八月を境としてその内容の著しく変化した厚生行政を追っている。戦前は天皇制の下において未熟な資本主義経済の矛盾を是正する一八七四年の恤救規則から一九一四年の救護法に至る上からの救済制度である。恩恵的厚生行政であった。

戦後の厚生行政は日本国憲法により社会福祉は憲法上規定され、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の増進に努むることになった。以後、日本経済の発展とともに社会福祉制度は充実度を加えるようになり、やがて介護保険法の施行により、福祉が国民の権利として位置づけられるようになってきた。

厚生行政の変化のなかで実証的に赤穂市を見ると、市は地方財政において比較的恵まれた地域であり、財政力指数〇・八を維持しながら市政策の自由な選定を行い、「水とみどりにつつまれた歴史文化交流都市」を基本理

念としている。市の財政構造は歳入が三百四十六億平成十三年)であり、歳出における民生費(福祉)は三十四億で約十六%を占め比較的多い。

福祉政策は、「すこやかなまちづくり」とともに生きる福祉社会の建設であり、地域総合援護システム、老人保健福祉計画の推進、民間福祉活動(社協)への助成等の具体的な施策を展開している。

おしまいの第四章では社会福祉協議会(社協)の活動について、社協は地域福祉にとっては欠かせない民間団体であり、年間約一億円の予算で活動している。事業の内容は福祉教育・地域福祉の充実、在宅福祉サービス、婦人児童福祉の推進、老人障害者福祉の推進等である。

前田ゼミの発表は、国、地方レベルの福祉政策の二十世紀的転換の社会状況のなかで、地方都市としての赤穂市の実態を具体的に検討したものであった。フォーアの活発な質疑のあと盛大な拍手で発表が終了した。

二〇〇〇年度ミニティアワー報告会 今回ゼミ報告

「赤穂市の歴史遺産」

今回ゼミは、赤穂市の歴史遺産について調査しました。赤穂市の歴史遺産で、誰しもがまず思いへのは何と言てもまずいわゆる忠臣蔵の物語です。なむ赤穂事件でよくこの赤穂事件の発端となったのが元禄十四年(一七〇一年)三月十四日に起った赤穂藩主浅野内匠頭長矩による江戸城中での刃傷事件で、昨年はこの事件がちょうど三百年の記念の年に当たります。そしてその翌年、今年からちょうど三百年まえの元禄十五年(一七〇二年)十二月十四日に赤穂浪士の討ち入り事件が起ったのです。このように、昨年から今年にかけては赤穂事件三百年の記念の年にあたり、赤穂市でも、忠臣蔵三百年祭としてさまざまな催しが行われていきます。

事件の発端となった刃傷の原因についてはさまざまなお説

がありますが史料の不足から明確な原因は明らかではありません。良質な史料で確認できるのは、刃傷の時に浅野を抱きとめて吉良上野介の命を助けた梶川与惣兵衛の記録に、浅野が切りつける時に「この間の遺恨覚えたるか」と叫んだこと、またその直後「上野介には以前から意趣があった」と述べたことが記されているので、浅野が吉良に何らかの恨みを抱いていたことは確認できるのです。がそれ以上の詳しいことはわかりません。

事件のあと、浅野の取り調べにあたり幕府の目付、多門伝八郎の書責が残されており、そこにはいくらかの興味深いエピソードと共に、浅野の辞世としてあまりにも有名な風をそよ、花よりもなお、我はまた、春の名残を、いかにかせんが記されています。これも最近の研究で、この史料の信頼性に疑問が呈されておいて、この有名な辞世も、他の史料に全く見えないところから、真作ではない

のではないかと考えられています。

幕府は当時の慣習法であった喧嘩両成敗法の原則を無視し、吉良は処分せず、浅野を切腹させ、赤穂藩を取り潰しました。赤穂城の受け取りには、籠野・足守の両藩の軍勢が差し向けられました。

赤穂城は明治五年(一八七二年)に全国的な政策の環として廃城になり、破壊の危機にみまわれましたが、幸い赤穂義士とのかかわりで大規模な破壊をまぬがれ、昭和三十年(一九五五年)には国の史跡に指定されることが決定し、現在保存と修復が進められています。



第二回卒業式 学長式辞

平成十三年三月二十五日(日) 赤穂市文化会館
大ホールにおいて挙行されました第二回卒業式の
学長式辞です。

卒業おめでとう。よくがんばって来られました。君達二百七十六名は四年前頼るべき先輩もない、大学としての慣行、風習がまだできてはいない、形だけの大学に入學してきました。教員は少数でしたが、学舎は野中の軒家のようだったと思います。

君達はその大学で部活をはじめ、ミニライナーを試み、卒業研究をし、就職先を開拓してきました。よくがんばったと思います。両親の方々のご努力も、社会事情から見て、一方なめものであったと推察します。君達と両親の方々に、強い敬愛の念を禁じ得ません。教職員を代表して、心から卒業おめでとうと申し上げます。

そして、本日のご臨席を賜りました方々を代表する、諸団体、諸機関の、今日までのご支援に、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

この大学は、何度も聞いたことと思いますが、元禄の義士を産んだ赤穂市が誘致し、その補助を受けて生まれた大学です。君達は、その第10回の卒業生です。

その君達に、わたしは今、卒業に当りて、義民、ということばをおくりたいと思います。

義民とは、義とこの字で表現します。義士のこの字は、教養や学徳を持った立派な男子、人民を支配する官吏、江戸時代の武士を表す字です。これに対して、この字は、国家あるいは社会を構成する人々、特に、君主國で君主の支配をうけている人々を指す言葉です。

卒業に当りて、今、義民、ということばを送る意味は、君たちはこれから自分を大切に生きてほしい、ということばではなく、その中で、自分が生きていく社会を、他の仲間と一緒に、その全体のありようを考えながら、同時に自らをも大切にしながら生きてほしい、ということばです。義民は社会と自己とを同時に生きよう、といった人です。

赤穂浪士が吉良を討ち取り、自らの命を絶つたことによって、義を貫いたのは、元禄十五年(七〇二年)今から三百年前のことです。幕府に義を訴えたが聞き入れられず、やむにやまれぬ敵行だったと理解しています。

実はそれと全く同じ頃ですが、今の東大阪で、父と共行

そして父の遺志をついで、幕府に四十年にわたる嘆願を繰り返していた者がいます。嘆願の内容は、大和川のつけかえです。少し話が長くなりますが、お許し下さい。

この、大和川のつけかえを訴えていたのは、河内村の庄屋、川中九兵衛と長男、太兵衛、そして三男の甚兵衛です。作家、司馬遼太郎はこの甚兵衛を義民と呼んだと記憶しています。

知つての通り、大和川は、奈良盆地から生駒山と金剛山との間を遡って、今の柏原に出て、北上して、くろ石川と合流し、今とは異なり、幾つかの川に分かれながら北上し、大阪城の東に出て、また別の川と合流して、淀川に注いでいます。

この複雑な水系のつえに、また川底が両側の平地より高い、天井川のため、大和川はしばしば洪水を起こし、河内に大水害をもたらしていました。元和から元禄の三十年間に、実に十二回の大水害があったという記録があります。

そして、ひとたび洪水が起ると、土砂が平地に流失し、肥沃した土を流してしまひ、水が引かす、沼を作り出します。

庄屋に就任した九兵衛らは、同志と力を合わせて、大和河内、摂津の地形を实地調査し、今の大和川になるように、柏原から西の堺に真直ぐに放流する、大和川のつけかえ計画を作りあげました。そして、その案を幕府に願ひ出たのです。

しかし、それが許されないうま、九兵衛は明暦二年(一六五六年)に死去します。長男の太兵衛と三男の甚兵衛は、この父の志をいひ、熱心に大和川のつけかえ運動を続けます。

元禄十三年(七〇〇)には、兄の太兵衛も亡くなりました。しかし、残された甚兵衛の努力は、さらに続けられました。ついに元禄十六年(七〇三)に父が亡くなつたあと、四十七年がたつて、幕府はようやく川運を断行するの事を決定します。そして、川幅百八十メートル、長さがおおよそ十四キロメートルという、広く長い大和川が完成します。

勿論、工事自体は公費で、費用は基本的に幕府が負担するものです。しかし、甚兵衛らのしたつけかえ運動は、

ただその実施を粘り強く嘆願し続けたといったものでは決してありません。

実は幕府は、淀川の治水にはかねてより関心をもち、すでに寛永十三年(一六三九)に、川運を決定したことがあったのです。しかし、川筋村の反対により、中止されていたのです。甚兵衛らはその中で、何度も何度も自分達で实地調査をし、新川になり川底に埋没してしまつた二十九の村の人々と話し合い、そして利害を調整し、計画を立て直しく、合意をとりつけることしたもので、理解します。甚兵衛らはその費用と努力と知恵を、全て負担したものと理解しています。

河内は、こうして、水害から守られるようになりました。広大な新田が開発され、「河内もめん」と呼ばれるように、明治になるまで、日本全国で有名な特産品を作り出せる土地になったのです。

義民とは、この川中九兵衛、太兵衛、甚兵衛ら父子の様な人だと思ひます。災害にたいして、人々がどう結びつき、相互に我慢しあひながら協力しあひていくか、これが、甚兵衛ら親子が求めてきた正義だったのだと理解しています。義士が貫いた正義とは、また異なつた次元のもので、甚兵衛らの貫いた正義は、人と人との結びつきではありません。みんな、共通の環境の中で生活を営むもの同士が、どう責任を分担し合ひて生きていくか、という横の關係のルールだったと思ひます。

西、赤穂はかつて義士を産んだ土地です。しかし、今は義民を育てるべく新しい大学がつくられたまちです。君達は、この関西福祉大学を卒業します。大多数は赤穂を離れていきます。その君たちに、卒業に当りて、義民という言葉をおくりたい。新しい義を深し、自己を守りながらも、それを貫く精神をもち続けて欲しいと強く念じます。卒業おめでとう。正しく、よく、そして美しく生きて下さい。

平成十三年三月二十五日

関西福祉大学 学長 船曳 宏保





■卒業生の最新情報■

大変忙しいです

白石 克矢



わたしは現在松本市役所の市民生活課、里山辺出張所に勤務しています。出張所では本庁の仕事と違い、地域住民との接

触が多いので、とても楽しいです。時にはボランティア部会の人達や日赤奉仕団の方々とともに福祉施設を訪ねることもあるので関福大での経験（笑）が少しでも役立つているのではないかと思います。仕事は毎日起きるのから大変で苦労しますが、みんなに負けず頑張ってみせるぞー！！

社会人の感想

安田 美穂



赤穂の中央病院に勤めています。気づけば社会人になってもうすぐ一年。学生のときの物差しはだいぶ消したつもりですが

まだ残っています。学生がどれほど世間知らずか痛感させられる年でした。アルバイトで世間は分かりません。とは言ってもまだまだ休みの日にはイヤシを求めて大学に出没しています。今年も大学で見かけたらあたたかく迎えて下さい。

新しい勉強

須々木 雅江



加古川のマックスバリュー安田店に勤めています。一時間毎に部門別に売上額が出て、それを見て働くという忙しい職場ですが、親切な職員の方たちに助けられています。お客様との対応（言葉づかいや動作）、売れ筋の商品や売り場のつくり方などを勉強しています。話しが変わりますが、アルバイトの後輩が二人いました。縁というか本当に懐かしく、うれしかったです。買いに来てくださーい。

この道でいける？

入澤 一之



勤務は和気(岡山県)の特養虫庄です。気をつかうことが多い仕事ですが、元気です。がんばっています。一年経って、お年

寄りと話したり、シーツ交換や掃除をしたり、おしめ交換をしたりしている自分に驚いています。とりあえず、という気持ちで就職したのですが、この道はやりがいがあるこの道で行けるんじゃないか、という気持ちです。社会福祉士も受ける気になりました。

生活相談員をしています

岩野 純子



地元津山の鏡野でデイサービスとグループホームの仕事をしています。社会福祉士に合格しましたので、生活相談員の肩

書きをいただいています。お年寄りの体調がよくなったり、会話が増えたりすると家族から感謝され、やりがいを実感します。仕事は、叱られながら、教えてもらいながらの毎日です。グループホームをもう少し深く勉強してみたいです。

トラックで走っています

同前 和也



岡山コープ津山センターで配達の仕事をしています。配達に出ると自由ですが、全責任が自分にかかってくるので、厳しさがありません。津山は雪が降ります。雪道でヒヤリとしたこともあります。お客さんの、ありがとーという言葉がはげみです。福祉に帰りたい気持ちがないではありませんが、今はこの道です。皆さんお互い、頑張りましょう！

一歩ずつ

堀本 一馬



知的障害者の施設で働いています。転職はしたくないと決めていたので、この仕事かな」という気持ちです。入所者

からは、カズマと呼ばれていますが、信頼してくれているようで気に入っています。大学時代に打ち込んでいた音楽で身につけた表現力が、仕事に役立っているかもしれません。先輩職員に習って、一歩ずつやっていきます。みんな元気やったらそれによいです。



認定心理士
 本学では、平成十四年度入学生より、「認定心理士」の資格認定審査を受けることができるようになりました。
 認定心理士とは、「心理学の専門家として仕事をするために、最小限の標準的基礎学力と技能を修得している」と日本心理学会が認定した人のことです。
 認定心理士は、いろいろな悩みなど心理的問題に対して心理査定(心理判断)を行い、カウンセリングや心理治療、あるいは環境調整などさまざまな心理的援助を行います。
 現在、多くの認定心理士が福祉・医療教育司法など幅広い分野で様々な業務に従事し、活躍していますが、本学で学んだ学生達も、社会福祉士をベースに、この認定心理士の資格を得て、社会の幅広い分野で活躍してくれることにより、

後輩たちもガンバっています!

早いもので、二期生のみさんが夢と希望を胸に本学を巣立たれてから、はや二年が過ぎようとしています。一人ひとりが自身の夢の実現に向け、それぞれの道で日々、頑張っておられる姿が目に見えます。

みなさんもご承知のとおり、バブル崩壊後の長引く不況により、大学新卒者の就職を取り巻く環境は依然として厳しいことになりました。そんな中でも、二期生が築いた九八・三%という高い就職率は、後輩たちにとって良い刺激であり、大きな自信とつながっています。二期生の先輩につづけ、「一言言葉にスタートした二期生たちの就職活動も、気がつけばもう正念場。二月十五日現在の就職内定率は約八〇%。前年同期とほぼ同率となっています。是非、今年も

認定心理士

「認定心理士」が

目指せるようになりました!

教員免許

目指せ! 高等学校「福祉」教員

福祉ニーズが高度化・多様化していく中で、専門的な知識・技術を身に付けた人材の育成が求められています。
 このような状況の下で、高等学校において専門教科「福祉」が新設(平成十五年)されることを受けて、本学では平成十四年度に「福祉」の教職コースを開設することとなりました。

現在、三年次生四十九名、二年次生三十名が本コースを履修し、将来の福祉の担い手となる高校生に福祉を教える教員を目指しています。
 現職の教員も「福祉」免許の取得が可能であることや、採用数の見通しがなかなか立たないことなど、厳しい状況もみられますが、本学の学生が一人でも多く、「福祉」の教員となり、後進の教育に取り組んでくれることを祈りたいと思います。

「た」、職業選択の視野が広がった」などの前向きな感想が寄せられました。また、当日の司会進行から招聘企業への接遇に至るまで、運営のすべてを学生主体で行い、本学学生のすばらしさを企業の方々が大いにアピールすることが出来たと思います。

恒例となつた出陣式の勝鬨では、「二・三・タツ!」の掛け声とともに、三年次生のモチベーションは一気に高まりを見せました。この日を境に、就職課には連日のように三年次生が履歴書の添削やさまざまな相談に訪れるようになりました。企業希望者は、各地で開催される合同説明会の参加や、パソコンでのウェブエントリーを開始しました。福祉施設等への就職を希望する学生は、春季休暇を利用し、就職を視野に入れた、人間性を広げる意味でのボランティアを行うなど、意欲的に活動を進めています。

関西福祉大学から「求人が寄せられるなど、職場でのみなさんに対する評価の高さが後輩たちへの援護射撃となっていることも大きな要因といえるでしょう。しかし、まだまだ活動を続けている四年次生もいます。今後、みなさんの勤務先で採用予定等がありましたら是非就職課にご報告ください。

社会福祉士・精神保健福祉士

第二期生が果敢に挑戦!!!

二月二十六日(土)・二十七日(日)の二日間、本学の第二期生約二百名が、第十四回社会福祉士・第四回精神保健福祉士国家試験に果敢に挑みました。
 大学は、基礎・応用・実戦の三段階からなる国家試験対策講座や、国家試験対策の専門業者が実施する模擬試験(三回)、日本社会福祉士会主催の模擬試験(一回)など、昨年度以上の密度の濃いメニューを展開し、全学をあげて支援しました。

合格発表は、三月下旬の予定ですが、合格者が昨年実績を大きく上回るよう期待したいものです。
 なお、昨年の合格者は、社会福祉士が四十六名、精神保健福祉士が七名でした。大学の担当者は、来年度以降も全学を挙げて、より実効性のある国家試験対策を展開していきたいと思っています。

平成14年度 入試状況

入試区分	エントリー者数	志願者数	合格者数
AO入試(一般)	53	50	35
AO入試(社会人)I期	1	1	1
AO入試(社会人)II期	1	1	1
公募制推薦 11月入試	159	153	76
公募制推薦 12月入試	57	52	24
一般2月入試	491	456	136
一般3月入試	132	118	41

次 第

関西福祉大学平成十三年度卒業式

挙行日 平成十四年三月二十五日(月)
場 所 赤穂市文化会館大ホール
開 式 / 十一時

祝賀演奏
開式の辞
国歌斉唱
学歌「朝明け」演奏
卒業証書・学位記授与
学長賞授与
特別賞授与
学長式辞
理事長祝辞
赤穂市長祝辞
金光教務総長祝辞
在学生代表送辞
卒業生代表謝辞
学生歌「英知みのる」演奏
閉式の辞

次 第

関西福祉大学平成十四年度入学式

挙行日 平成十四年四月五日(金)
場 所 赤穂市文化会館大ホール
開 式 十三時

祝賀演奏
開式の辞
国歌斉唱
学歌「朝明け」演奏
入学許可
学長式辞
入学生代表宣誓
理事長祝辞
赤穂市長祝辞
金光教務総長祝辞
在学生歓迎の辞
学生歌「英知みのる」演奏
閉式の辞

一口メモ

学校法人関西光学園の沿革

大正十五年 二月 私立静徳高等女学校創立
昭和七年 六月 財団法人浪花高等女学校に名称変更
昭和二十三年 四月 学制改革により、進修高等女学校、大軌高等女学校、浪花高等女学校の三校を合併し、浪花女子中学校、浪花女子高等学校と改称し、大阪の金光教関係者によって経営されることになる。
(平成十一年四月、金光藤蔭高等学校と改称)
財団法人浪花高等女学校を財団法人浪花光学園と改称
昭和二十五年 四月 私立学校法制定により、学校法人浪花光学園と改称
昭和二十六年 三月 金光第一高等学校設置(平成十一年四月、金光大阪高等学校と改称)
昭和五十七年 四月 金光第一高等学校八尾学舎(分校)設置、金光八尾中学校設置
昭和六十二年 四月 金光八尾高等学校設置(分校を独立校にする)
昭和六十三年 四月 大阪金光中学校設置(平成十一年四月、金光大阪中学校と改称)
平成六年 六月 学校法人関西光学園と改称
平成八年 十二月 関西福祉大学社会福祉学部設置認可
平成九年 四月 関西福祉大学社会福祉学部開設

吹奏楽部 銀賞受賞

「アンサンブル・コンテスト」

兵庫県吹奏楽連盟と朝日新聞社共催による第二十九回兵庫県アンサンブル・コンテストが、平成十四年七月二十日、淡路島の、しずかホールで開催されました。

本学吹奏楽部は金管八重奏とサクソフォーン四重奏で銀賞を受賞しました。トランペットの竹本さんは「昨年は金だったので少し残念ですが、でも頑張りました」と満足そう。サクソスの米田さんは「むすしかかったけど、皆でやりました。いろんな人に支えられました」と感謝の気持ちを表していました。



平成14年1月29日、事務局の小坂さんと一緒に立命館大学校友会を訪問し、志垣事務局長からお話を聞きました。立命館は創立100年、校友会員数20数万人、都道府県校友会52支部、海外9支部、職域・地域グループ280など、関福大とは比較できませんが、大変勉強になりました。

会員の消息把握に苦勞し、工夫しておられました。データベースとホームページのシステムの一部を拝見しました。素晴らしいものでした。会員相互

のコミュニケーションを図るため、会員一人一人にメールアドレスを配り、相互に連絡をとりやすい環境づくりを力を入れておられました。

私たちの校友会は二期生を併せても560人ほどしかおらず、規模は小さいですが、少しずつ消息がつかみにくなってきている様子も見受けられます。今からネットワークづくりを真剣に考える必要があるのではないのでしょうか。本学の特色を生かした組織づくりをしていきたいと感じました。

校友会とは？

1 校友、校友会

関西福祉大学の卒業生が校友（正会員）です。学友から校友へ。卒業して新しい交流が始まります。会員には正会員の他に特別会員（現旧専任教職員）、賛助会員、準会員（在学生）などがあります。

2 会の目的

会員相互の親睦・扶助、会員の教養向上、母校の発展援助、社会貢献などを目的とします。

3 設立

第5回汐風祭本祭初日の平成13年10月27日に設立されました。

4 本部、支部、各種校友会

校友会の組織は、本部、支部（都道府県別）の他に、各種同窓会・OB会、職域会・職種会、同好会・有志の会など各種の集いが考えられます。

5 本部の仕事

全体の日常業務は本部役員（会長、副会長、理事、幹事、会計監事）が分担します。事業は、会報・名簿の発行、総会・親睦会の開催、講演会などの開催、支部活動等支援、母校・在学生への支援、社会奉仕の事業などがあります。

学章、校友会会員章の贈呈

本学の学章は、大学開学の平成9年に制定されました。

大きな円は、地球を表し、小さな円は、昇りゆく陽の光が世の中を照らす光となって、きらきら輝くイメージを表しています。光を両手で支えているのは、大学の教育目的である人間愛に導かれた「福祉の心」を象徴したものです。白い円の中のマークは、赤穂市の市章をアレンジしたものです。

校友会では、このたび会の設立を記念して、校友会会員章と学章のバッジを作成しました。卒業生には校友会会員章を、新入生には学章を、それぞれ贈呈します。

大切に活用してください。



学章



校友会
会員章



原稿募集!

同窓会など各種の集いの記事や近況などをお寄せください。

宛先は関西福祉大学校友会事務局です。

記事の雰囲気にかわいらしい写真があれば添付してください。写真は発行後返却します

原稿及び写真の採否は事務局にご一任ください。

原稿への加筆、修正、削除をお願いすることがあります。

編集後記

三十歳に手が届きそうになった頃、幼い時代の記憶がむしように懐かしく、思い出の家や土地を訪ねて廻った時期があった。小学校時代のクラス会を始めたのもその頃だった。このクラス会は今も続いており、皆仲がよい。

振り返って考えるに、故郷、母校などの足場を再確認する作業が、そのころの私に必要なのかも知れない。仕事に対して自信を持ち、仕事上の人間関係が発展したのも同じころからであった。

校友会、同窓会は必ず校友の皆さん方の生活と仕事の充実に役に立つと私は信じている。校友の人間関係を栄養補給の源泉として大切に、人生を豊かにしていただきたいと思う次第である。

（小坂 晋一）

大学創設当初、「バッジがないな」という声が、事務局内でよく聞かれた。学章はすでに制定され、印刷物等で目に触れるのであるが、バッジになっていないのが何となく寂しいという気持ちだった。他大学の資料を集め、バッジ作成の準備が進められた時期もあった。しかし、忙しさに取り紛れたのか、大きな費用の捻出のめどがたたなかったため、容易に実現をみなかった。

このたびの学章、会員章の作成は、この経緯を見てきたものとして、誠に嬉しいの一語に尽きる。学章は、在学生にとっては、強力な就職活動支援ツールにもなるであろう。たかがバッジと言ふなかれ。このバッジは、ここに働いている自覚、学んでいる自覚を涵養する大きな力をもつ。

（星野 光也）

校友会 会報 第1号

発行 平成14年3月25日

発行所 関西福祉大学 校友会

発行者 船曳宏保

編集 事務局 小坂晋一

〒678-0255 兵庫県赤穂市新田380-3

TEL 0791-46-2525

FAX 0791-46-2526

Email koyukai@kusw.ac.jp

http://www.kusw.ac.jp/(大学)